

提出年月日を記入する。

特定施設（有害物質貯蔵指定施設）設置（使用、変更）届出書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

（あて先）一宮市長

工場長等の代表権を有しない者が届出者となる場合、代表者の委任状が必要。

住所 一宮市××町1-2-3

氏名又は名称 〇〇株式会社

届出者

法人にあつては代表者氏名 代表取締役 一宮 太郎

水質汚濁防止法第5条第1項、~~第2項又は第3項~~（第6条第1項又は第2項、~~第7条~~）の規定により、特定施設（有害物質貯蔵指定施設）について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		〇〇株式会社 本社工場	※整理番号		
工場又は事業場の所在地		〒〇〇〇-〇〇〇〇 一宮市××町1-2-3	※受理年月日	年 月 日	
第5条第1項関係	特定施設の種類の	66 電気めっき施設	※施設番号		
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	※審査結果		
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考		
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙1の2のとおり。			
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。			
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。			
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。			
△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。				
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類の	/			
	△有害物質使用特定施設の構造				別紙7のとおり。
	△有害物質使用特定施設の使用の方法				別紙8のとおり。
	△汚水等の処理の方法				別紙9のとおり。
	△特定地下浸透水の浸透の方法				別紙10のとおり。
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統				別紙11のとおり。

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

別紙 1

特定施設の構造

工場において使っている番号等があれば、記入する。

工場又は事業場における施設番号	66-②	
特定施設号番号及び名称	66 電気めっき施設	
型式	全自動銅ニッケルクロム ラインメッキ (令和〇年△△△社製 ZB-A1)	
構造	鉄製、内部を塩化ビニールライニング (構造図は資料〇のとおり)	特定施設の構造図を添付する。
主要寸法	メッキライン 長さ 16.6m×幅 1.6m×高さ 2.3m メッキ槽 高さ 0.7m×幅 1.1m 1基	設置基数についても記入する。
能力	ねじ 〇〇〇個/日 (あるいは△△kg/日 等)	「工場全体の配置図」と「特定施設及び関連する主要機械又は主要装置の配置図」を添付する。
配置	めっき工場棟1階 (配置は資料〇のとおり)	法第6条に基づく使用届の場合のみ記入する(以下同様)。
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項	床面は厚さ 100mm のコンクリート 周囲には側溝を設け、流出を防止 施設担当者：一宮三郎 主要製品： 自動車バルブ部品など	<ul style="list-style-type: none"> 有害物質使用特定施設に該当する場合には、床面の構造及び周囲の構造等を記入すること。 防液堤等については、可能な場合には容量を記載すること。 <p>①当該施設の担当者名 ②主要製品 など、 参考となるべき事項も記入する。</p>

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号	66-②	
特定施設番号番号及び名称	66 電気めっき施設	
設 備	地上配管、排水溝、ためます	
構 造	配管：ステンレス製 排水溝、ためます ：コンクリート製、厚さ50mm	
主 要 寸 法	配管：直径100mm×30m 排水溝：幅300mm×深さ200mm×10m ためます：500mm×500mm×400mm (途中で65-②及び66-①の排水溝と合流)	
配 置	めっき工場1階 (配置は資料〇のとおり)	
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項	<p>配管については、 地下配管（トレンチ）、地下配管（埋設）などのケースも考えられる。トレンチの場合はトレンチの構造についても記入すること。</p> <p>「設備」の欄には、施設に付帯する配管等、排水溝等の設備の名称を記入すること 「構造」の欄には、設備の材質を記載するとともに、検知設備を有する場合にはその旨記入すること 「主要寸法」の欄については、設備のうち、主なものについて寸法を記入すること 「配置」の欄については、建物の名称・位置等を記入するとともに、地下に設置されている場合にはその旨を明記すること。 有害物質を含む水が流れない場合には、構造等に関する基準が適用されないので、その他参考となるべき事項の欄にその旨記入すること。</p>	

備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。

2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	66-②				工場全体の配置図を添付し、特定施設の設置場所を明示する。
特定施設番号及び名称	66 電気めっき施設				
設置場所	別紙配置図のとおり		別紙配置図のとおり		
操業の系統	別紙のとおり				原料から製品までの製造工程のフローシートを添付し、工程における特定施設を他の施設と区分する。
使用時間間隔	連続使用				
1日当たりの使用時間	8時間				
使用の季節的変動	なし				特定施設を含む作業工程で実際に使用している全ての原材料等について記入する。欄内に記入できない場合には、別紙に記入する。
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	別紙のとおり				
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	3~10	2~13		
	BOD	100mg/L	300mg/L		
	COD	50	100		
	SS	90	120		
	T-N	60	200		
	T-P	8	20		
	CN	50	70		
	Cr ⁶⁺	40	60		
	Cu	30	50		
排水基準の定められている有害物質及び生活環境項目のうち、当該事業場で使用するなど関係するものについて記入する。 (有害物質については必須)					
当該特定施設から排出される汚水又は廃液の量を記入する。					
汚水等の量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	
	70	100			
その他参考となるべき事項	使用有害物質等： 電気銅、シアン化カリウム、 無水クロム酸、シアン化ナトリウム				製造、使用又は処理している有害物質等を記入する。

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙3

法第6条に基づく使用届の場合のみ記入する。

汚水等の処理の方法

工場で使用している番号等があれば、記入する。

工場又は事業場における施設番号	No. 1								
処理施設の設置場所	別紙配置図のとおり				別紙配置図のとおり				
設置年月日	年 月 日				年 月 日				
工事着手予定年月日	令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日				年 月 日				
工事完成予定年月日	令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日				年 月 日				
使用開始予定年月日	令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日				年 月 日				
種類及び型式	総合汚水処理施設 〇〇式								
構造	コンクリート製								
主要寸法	11m×17m×4m								
能力	35m ³ /時				汚水処理の系統図を添付する。				
処理の方式	酸化、還元、凝集沈殿								
処理の系統	別紙のとおり				集水及び導水系統を「工場全体の配置図」等に明示する。				
集水及び導水の方法	200mmφ塩ビ管にて汚水処理施設に導水する(別紙参照)。								
使用時間間隔	連続								
1日当たりの使用時間	8時間				汚水処理施設で使用する薬品等について、用途別にその種類と使用量を記入する。 欄内に記入できない場合には、別紙に記入する。				
使用の季節変動	なし								
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	別紙のとおり								
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	4~9	7~8	2~13	7~8				
	BOD	80	15	200	20				
	COD	40	10	80	20				
	SS	60	20	120	30				
	T-N	50	20	200	25				
	T-P	5	2	20	3				
	CN	50	0.1	70	0.5				
	Cr ⁶⁺	40	0.1	60	0.3				
	Cu	30	0.5	50	1				
	Zn	30	1	50	2				
量(m ³ /日)	210	210	250	250					
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	汚泥(50m ³ /月、脱水後7m ³ /月) 業者委託				排出先及び排出方法等を記入する。				
排出水の排出方法	処理水→No.1排水口→側溝→△△川 →◎◎川				・汚水の処理によって生じる残さを業者委託する場合は、処理業社名等を記入する。 ・別紙1,2の特定施設と処理施設との関係等を記入する。				
その他参考となるべき事項	汚泥処理:△△処理(株)(〇〇市△△町)に委託。 66-②→No.1処理施設→No.1排水口								

- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
2 排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

この欄に記入した項目については、
年1回の測定義務が生じる。

排水口名称等を記入する。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		No. 1		No. 2	
排水水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	<i>pH</i>	7~8	7~8	6~7	6~7
	<i>BOD</i>	15mg/L	20mg/L	10mg/L	15mg/L
	<i>COD</i>	10	20	9	14
	<i>SS</i>	20	30	20	30
	<i>T-N</i>	20	25	8	12
	<i>T-P</i>	2	3	0.8	1.2
	<i>CN</i>	0.1	0.5	—	—
	<i>Cr⁶⁺</i>	0.1	0.3	—	—
	<i>Cu</i>	0.5	1	—	—
	<i>Zn</i>	1	2	—	—
	排水水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常
		210	250	130	150
その他参考となるべき事項		<p>66-②など工程水 → No. 1 処理施設 → No. 1 排水口 → 側溝</p> <p>し尿浄化槽排水 + 冷却水 → No. 2 排水口 → 側溝</p> <p>雨水 → No. 3~No. 6 排水口 → 側溝</p> <p style="text-align: right;">△△川 ↓ ◎◎川</p>			

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

- ・別紙 1、2 の特定施設と別紙 3 の処理施設との関係を明示する。
- ・排水口ごとに、公共用水域への排出先を記入する。

排水口名称等を記入する。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		No. 3～6 (雨水専用)			
排水水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
		雨水専用排水口であり、汚濁負荷がない場合には、排水水の汚染状態の欄は空欄。			
排水水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		0 (雨水専用)			
その他参考となるべき事項		<p>66-②など工程水 → No. 1 処理施設 → No. 1 排水口 → 側溝</p> <p>し尿浄化槽排水 + 冷却水 → No. 2 排水口 → 側溝</p> <p>雨水 → No. 3～No. 6 排水口 → 側溝</p> <p style="text-align: right;">↓</p> <p style="text-align: right;">△△川</p> <p style="text-align: right;">↓</p> <p style="text-align: right;">◎◎川</p>			

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

- ・別紙 1、2 の特定施設と別紙 3 の処理施設との関係を明示する。
- ・排水口ごとに、公共用水域への排出先を記入する。

総量規制基準に係る愛知県告示の別表の「業種その他の区分」及び「番号」を記入する。
 「番号」は、「業種等及び規模一備考」（「61ア」、「108-ウ」、「206-備」、「223ア-備」等）と記入し、別表備考欄の業種等に該当する場合、「その他参考となるべき事項」にその内容を記入する。

別紙5

当該工程の排水(污水处理施設がある場合は処理後の排水)のCODを記入する。

汚染状態(最大)×水量(最大)÷1000

汚染状態(通常)×水量(通常)÷1000

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

当該工程の排水量を記入する。

業種その他の区分(番号)		汚染状態 (mg/L)		水量 (m ³ /日)					指定項目の別		COD
				汚濁負荷量 (kg/日)		通常	最大	Q _{c0}	Q _{ci}	Q _{cj}	
		通常	最大	通常	最大						
特定排水	① 電気めっき業(201)	10	20	36	43.5	16.5	-	27	0.36	0.87	
	② 輸送用機械器具製造業(206)	10	20	74	86.5	63.5	-	23	0.74	1.73	
	③ 輸送用機械器具製造業(206-備)	10	20	100	120	90	-	30	1	2.4	
	④ し尿浄化槽(150人槽)(232ア)	30	40	30	40	-	40	-	0.9	1.6	
	合計			240	290	170	40	80	3	6.6	
特定排水以外の排水	種類及び用途	汚染状態 (mg/L)		水量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)					
		通常	最大	通常	最大	通常	最大				
	a 冷却水	3	4	100	110	0.3	0.44				
	合計			100	110	0.3	0.44				
その他の備考事項	③については、電気めっき工程であるため、業種その他の区分に備考を適用。										

備考

- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
- 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
- 3 窒素含有量について記載する場合には、「Q_{c0}」を「Q_{n0}」と、「Q_{ci}」を「Q_{ni}」と読み替え、Q_{cj}の項には記載しないこと。
- 4 りん含有量について記載する場合には、「Q_{c0}」を「Q_{p0}」と、「Q_{ci}」を「Q_{pi}」と読み替え、Q_{cj}の項には記載しないこと。
- 5 ※印の欄には記載しないこと。

総量規制基準に係る愛知県告示の別表の「業種その他の区分」及び「番号」を記入する。
 「番号」は、「項番号及び規模-備考」（「61ア」、「108-ウ」、「206ア-備」、「209ア-イ」等）と記入し、別表備考欄の業種等に該当する場合、「その他参考となるべき事項」にその内容を記入する。

別紙5

当該工程の排水(汚水処理施設がある場合は処理後の排水)の窒素含有量を記入する。

汚染状態(最大)×水量(最大)÷1000

汚染状態(通常)×水量(通常)÷1000

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

当該工程の排水量を記入する。

指定項目の別 窒素含有量

業種その他の区分(番号)	汚染状態(mg/L)		水量(m ³ /日)			汚濁負荷量(kg/日)		※	
	通常	最大	通常	最大	Q _{c0}	Q _{ci}	Q _{cj}	通常	最大
	① 電気めっき業(201イ)	20	25	36	43.5	16.5	27	—	0.72
② 輸送用機械器具製造業(206イ)	20	25	74	86.5	63.5	23	—	1.48	2.16
③ 輸送用機械器具製造業(206イ-備)	20	25	100	120	90	30	—	2	3
④ し尿浄化槽(150人槽)(232ア)	30	40	30	40	40	—	—	0.9	1.6
①②③…、a b c…は、別添「排水水の排水系統別の汚染状態及び量の系統図」へ番号等を記入する。									
合計			240	290	210	80	—	5.1	7.85
特定排水水以外の排水水	汚染状態(mg/L)		水量(m ³ /日)		汚濁負荷量(kg/日)				
	通常	最大	通常	最大	通常	最大			
	a 冷却水	1	2	100	110	0.1			
合計			100	110	0.1	0.22			
その他参考事項	③については、窒素化合物による表面処理施設を設置する自動車付属品製造工程であるため、業種その他の区分に備考を適用。								

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
 - 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
 - 3 窒素含有量について記載する場合には、「Q_{c0}」を「Q_{n0}」と、「Q_{ci}」を「Q_{ni}」と読み替え、Q_{cj}の項には記載しないこと。
 - 4 りん含有量について記載する場合には、「Q_{c0}」を「Q_{p0}」と、「Q_{ci}」を「Q_{pi}」と読み替え、Q_{cj}の項には記載しないこと。
 - 5 ※印の欄には記載しないこと。

総量規制基準に係る愛知県告示の別表の「業種その他の区分」及び「番号」を記入する。
 「番号」は、「業種等及び規模-備考」（「61ア」、「108-ウ」、「206ア-備」、「209ア-イ」等）と記入し、別表備考欄の業種等に該当する場合、「その他参考となるべき事項」にその内容を記入する。

別紙5

当該工程の排水(汚水処理施設がある場合は処理後の排水)のりん含有量を記入する。

汚染状態(最大)×水量(最大)÷1000

汚染状態(通常)×水量(通常)÷1000

排出水の排水系統別の汚染状態及び量

当該工程の排水量を記入する。

指定項目の別 りん含有量

業種その他の区分(番号)	汚染状態(mg/L)		水量(m ³ /日)			汚濁負荷量(kg/日)		※	
	通常	最大	通常	最大	Q _{c0}	Q _{ci}	Q _{cj}	通常	最大
	① 電気めっき業(201イ)	2	3	36	43.5	16.5	27	—	0.072
② 輸送用機械器具製造業(206イ)	2	3	74	86.5	63.5	23	—	0.148	0.26
③ 輸送用機械器具製造業(206イ-備)	2	3	100	120	90	30	—	0.2	0.36
④ し尿浄化槽(150人槽)(232ア)	3	4	30	40	40	—	—	0.09	0.16
①②③…、a b c…は、別添「排出水の排水系統別の汚染状態及び量の系統図」へ番号等を記入する。									
合計			240	290	210	80	—	0.51	0.911
特定排水以外の排水	汚染状態(mg/L)		水量(m ³ /日)		汚濁負荷量(kg/日)				
	通常	最大	通常	最大	通常	最大			
	a 冷却水	0.1	0.2	100	110	0.01			
合計			100	110	0.01	0.022			
その他参考事項	③については、りん化合物による表面処理施設を設置する自動車付属品製造工程であるため、業種その他の区分に備考を適用。								

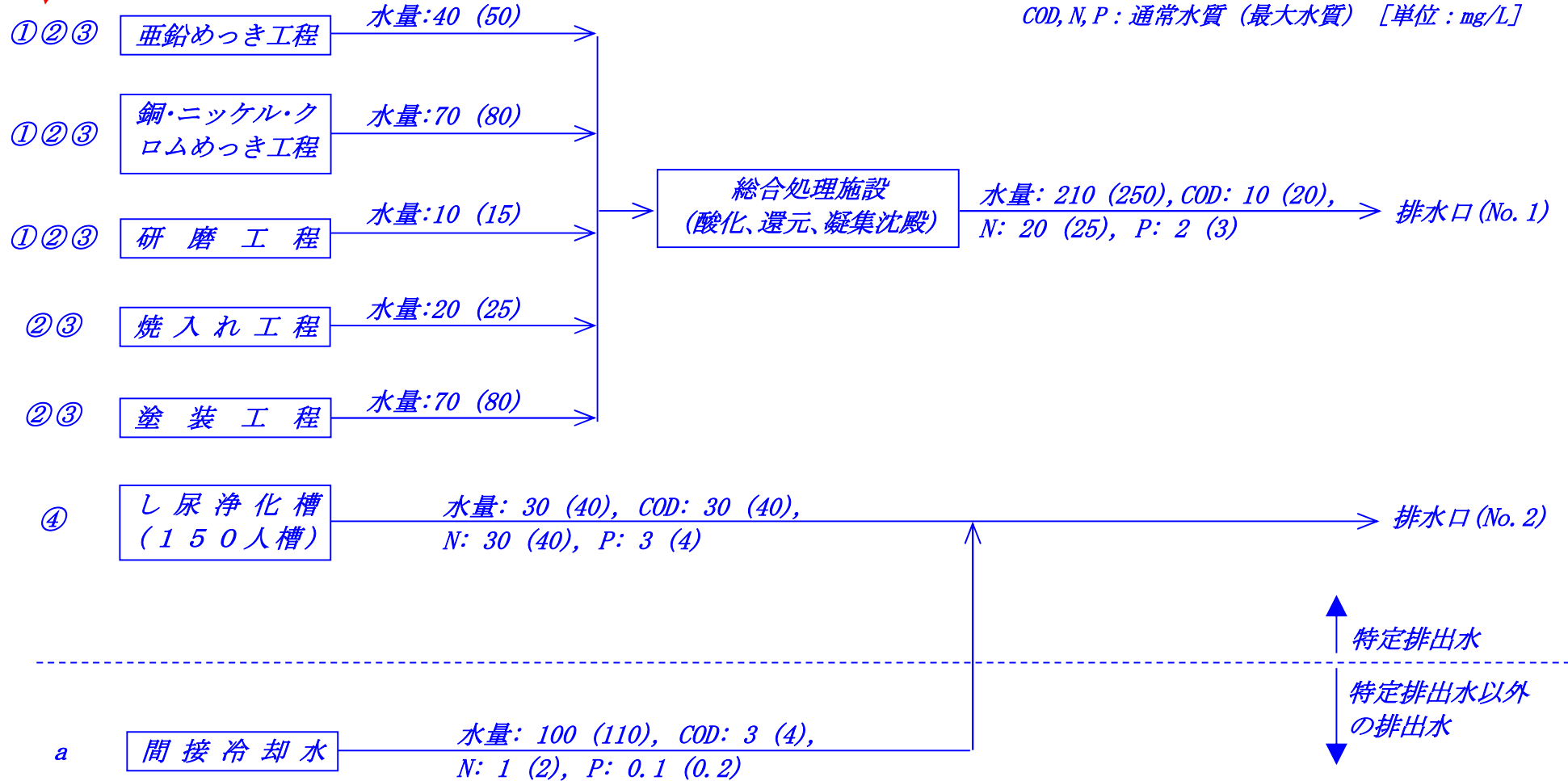
- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
 - 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
 - 3 窒素含有量について記載する場合には、「Q_{c0}」を「Q_{n0}」と、「Q_{ci}」を「Q_{ni}」と読み替え、Q_{cj}の項には記載しないこと。
 - 4 りん含有量について記載する場合には、「Q_{c0}」を「Q_{p0}」と、「Q_{ci}」を「Q_{pi}」と読み替え、Q_{cj}の項には記載しないこと。
 - 5 ※印の欄には記載しないこと。

別添

①②③…、a b c…は、別紙5「排出水の排水系統別の汚染状態及び量」の番号等を記入する。

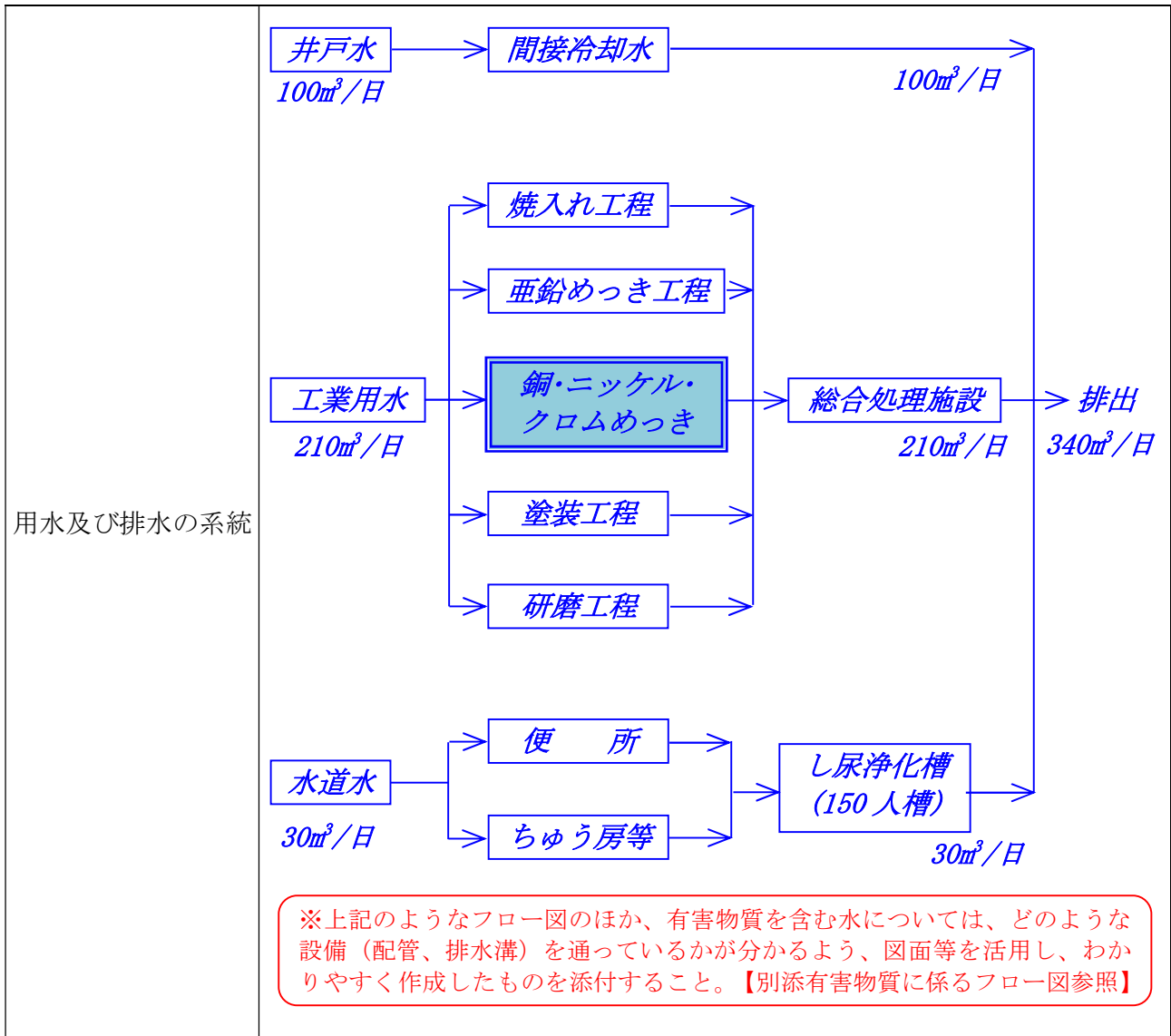
排出水の排水系統別の汚染状態及び量の系統図

<凡例> 水 量 : 通常水量 (最大水量) [単位 : m^3 /日]
COD, N, P : 通常水質 (最大水質) [単位 : mg/L]



水量総計 : $340 m^3$ /日 ($400 m^3$ /日)

用水及び排水の系統



	用 途	使 用 水	用水使用量 (m ³ /日)
用 途 別 用水使用量	特定施設	工業用水	210
	事務所、ちゅう房等	水道水	30
	冷却水	井戸水	100

工場・事業場の概要

工場・事業場の名称	〇〇株式会社 本社工場	工場・事業場の所在地	一宮市××町1-2-3
創業年月日	昭和〇〇年〇〇月〇〇日	資本金	8,000万円
従業員数	350人	公害関係担当者 氏名	一宮 三郎 電話〇〇〇〇 (〇〇) 〇〇〇〇
主な生産品 (月産別)	自動車部品	日本標準産業分類 細分類番号	3113

〈工場付近の略図〉

工場・事業場付近の略図を記載する。
最寄りの駅など目印となる建物等を記入すること。

有害物質に係るフロー図

この記入例は模式案であるため、実際の記入においては、図面等を活用し、わかりやすく作成すること。

